

No.1 動名詞と不定詞の両方を目的語にとるが意味が異なる動詞

動名詞と不定詞のイメージを押さえよう！ \_\_\_\_\_

動名詞(Ving)⇒実際に V しているイメージ

不定詞(to V)⇒これから V するイメージ(まだ V していない)

判別の鍵 \_\_\_\_\_

やっているのならば \_\_\_\_\_

やっていないのならば \_\_\_\_\_

① 【remember Ving と remember to V】

動詞	目的語	意味
remember	Ving	(実際に)V したことを覚えている
	to V	(これから)V することを覚えている

(ex1) I remember locking the door.

(私はドアに鍵をかけたことを覚えている)

(ex2) Remember to lock the door.

(ドアに鍵をかけることを覚えといてね)

## ② 【forget Ving と forget to V】

動詞	目的語	意味
forget	Ving	(実際に)Vしたことを忘れる
	to V	(これから)Vするのを忘れる

(ex1) I will never forget visiting Kyoto.

(私は京都を訪れたことを決して忘れないだろう)

(ex2) Don't forget to visit me.

(私のところへ訪れるのを忘れないでね)

## ③ 【regret Ving と regret to V】

動詞	目的語	意味
regret	Ving	(実際に)Vしたことを残念に思う
	to V	(これから)Vするのを残念に思う

(ex1) I regret leaving home.

(私は家出したことを残念に思う)

(ex2) I regret to leave this town.

(私は残念ながらこの町を去らなければならない)

④ 【try Ving と try to V】

動詞	目的語	意味
try	Ving	試しに(実際に)V してみる
	to V	(これから)V しようとする

(ex1) I tried eating the insect.

(私はその昆虫を試しに食べてみた)

(ex2) I tried to eat carrots.

(私はニンジンを食べようとした)